

## 国内消費、県内消費の活性化で大不況下を乗り切ろう

開倫塾

塾長 林 明夫

## 1. はじめに

あけましておめでとうございます。

開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。今年 1 年またよろしく願いいたします。

この番組では、私がいろいろなところで勉強させていただいたり考えさせていただいたりしたことを、毎週 1 回皆様にお伝えしています。今年で 23 年目に入る番組です。随分と長い間聴いてくださっている方もいらっしゃると思います。本当にありがとうございます。また、今回初めて聴いてくださる皆様、今日からよろしく願いいたします。

この番組では、学校で学ぶ児童、生徒、学生の方々だけではなく社会人の方々も含めた「勉強の仕方」をお話しています。勉強の仕方についてお話す専門の番組としては、おそらく世界に一つしかないものだと思います。

## 2. 国内消費、県内消費の活性化で大不況下を乗り切ろう

(1)さて今回は、大不況下でどのように毎日を過ごしたらよいかについて、勉強の観点からお話させていただきます。

(2)この大不況はいつまで続くのかというと、今年 2009 年ではなかなか終わらない。3 月には、銀行を含め、いろいろな企業の決算が行われます。その状況を推測するとそれほどよい状況ではないと思われます。もう一度株価が下がったり、消費が落ち込むことが考えられます。日本だけではなく世界中で、6 月から 7 月頃にかけてもっともどどん底の状況になるのではないかと、私は予想しています。

ですから、今年は昨年よりもさらに悪い状況に陥り、これがあと 1 ~ 2 年続き、2 ~ 3 年後から少しずつ上向くのではないかと思います。

(3)では、今は何をしたらよいのでしょうか。世界の通貨、ドルやその他の通貨に比べると、日本の円は非常に強いのですから、こういうときに何を一番すべきかということ、国内消費の大拡大です。お金が大変だとはいっても、他の国に比べると日本の各家庭にはかなりのお金があります。そのお金を必要なところを使って経済を活性化させることが大事であると思います。世界一のレベルの状況にある日本で、医療や介護、福祉、教育、スポーツ、文化などをもっともっと促進。生活を豊かにする。Quality Of Life (クオリティ・オブ・ライフ)・生活の質を豊かにすること。このことに国民のみんながお金を使って、質の高い生活をし、それによって国内の消費を拡大させ

る。このように、家の中に眠っているお金を必要なところに使って国内の経済を活性化させ、日本の大不況を乗り切る。これが、最も健全な不況対策であると思います。

(4)円高が進むと、日本から世界の国々に輸出するのは大変になります。自動車産業は、日本にとって非常に大切な産業ですので、国民の皆さんがもっと性能のよい車に乗ったり、生活や仕事、社会活動に必要な車を買ったりすると、自動車産業が栄えます。

それから、観光です。私は日帰り温泉が好きで毎週1～2度出かけることを心掛けています。栃木県内には、素晴らしい温泉がたくさんあります。温泉地はもちろん、それ以外のところにもたくさんありますので、栃木県民の皆さんは週に1度は日帰り温泉に行ったり、月に1度は温泉地に宿泊していただければと思います。健康維持のため、リフレッシュのためにお金を使うと、温泉地の方々の収入が増え、よい経済循環が生まれます。一方で、温泉地を利用する一人ひとりの方々も健康維持が図れ、とてもよいことになります。

(5)林業の促進、農業の促進、自然保護についても、もっともお金を使ってよいと思います。そして、栃木県の皆さんが月に1度くらいは林に入って間伐をしたり雑草を切ったりして、栃木県の林業を促進する。そうすれば、栃木県の自然保護がもっともっと進み、自然環境も非常によい状態になるとと思います。それは、地球の健全な保全のためにも役に立ちます。

(6)さらに、教育にももっとお金を使ってよいと思います。60歳過ぎの方でお金に少し余裕のある方は、放送大学を活用して学ばれるとよいと思います。1年間に何科目か放送大学で勉強、何万円かは、放送大学の学費としてお使いになることも素晴らしいと思います。

(7)また、栃木県内には18もの高等教育機関がありますので、それらに社会人として再入学していただいたり、単位聴講していただくと、教養が高まり、豊かな人生が生まれます。大学を卒業していなくても、単位聴講はいくらでもできます。あるいは、もう一度高校に入り直してもよいですね。勉強を続けていれば、ボケたりすることもありますので、非常によい状態になります。

(8)医療については、もちろん保険診療も大事ですが、自由診療でかかれる方はできる限り自由診療で歯医者さんやいろいろなお医者さんにかかっただき、質の高い治療や診療を受けていただきたい。保険のきかない医療もたくさんあります。私は、鍼(はり)の治療を毎週1回受けています。5～6年間治療を続けて頂いて、健康状態は非常に良好です。鍼治療やマッサージのように、保険はきかないけれども役に立つ医療はたくさんあります。ぜひそのようなところに行ってお金を使っただきたいと思います。

(9)介護でも、福祉でも、スポーツでも、文化でも芸術でもいいし、何か習い事をするのも素晴らしい。また、栃木県には素晴らしい農産物や食べ物がありますので、身体によいものを食べたりしていただく。このようにして、自分の生活を豊かにするためにお金を使うことによって、県内消費や国内消費を拡大させる。そして大不況を乗り切ることが、一番大きな不況対策になると思います。

(10) 栃木県の失業率を限りなく 0 %にするにはどうしたらよいかというと、栃木県の方は、栃木県内や日本国内でお金を使うようにすることも大事だと思います。円高ですので、海外に出掛けて見聞を広めることもしやすいとは思いますが...

(11) ハンディを負っている国が多い中で、日本は有利なところにいます。その円高という有利さを通して Quality Of Life (クオリティ・オブ・ライフ)・生活の質を向上させる。それで国内消費を拡大させ、県内消費を拡大させ、県内の失業者を一人でも少なくする。こういう形で、大不況を乗り切ってはどうか。

### 3 . おわりに

これは、私の個人的な考えですが、こと日本に関して言えば、国内消費さえ大拡大すればいくらでもこの大不況は乗り切れます。ですから、できるだけ国内で消費をする。とりわけ栃木県の中で、生活の質を豊かにするためにお金を使っただけならば、こんなによいことはありません。お子様にも、ぜひこのようなよいお金の使い方を教えてあげてください。